

災害委員会活動報告

2013~2014年度

2015年3月25日

調査研究関係委員会活動報告会

災害委員会 委員長 壁谷澤 寿海

災害委員会の目的

(運営規定 第2条)

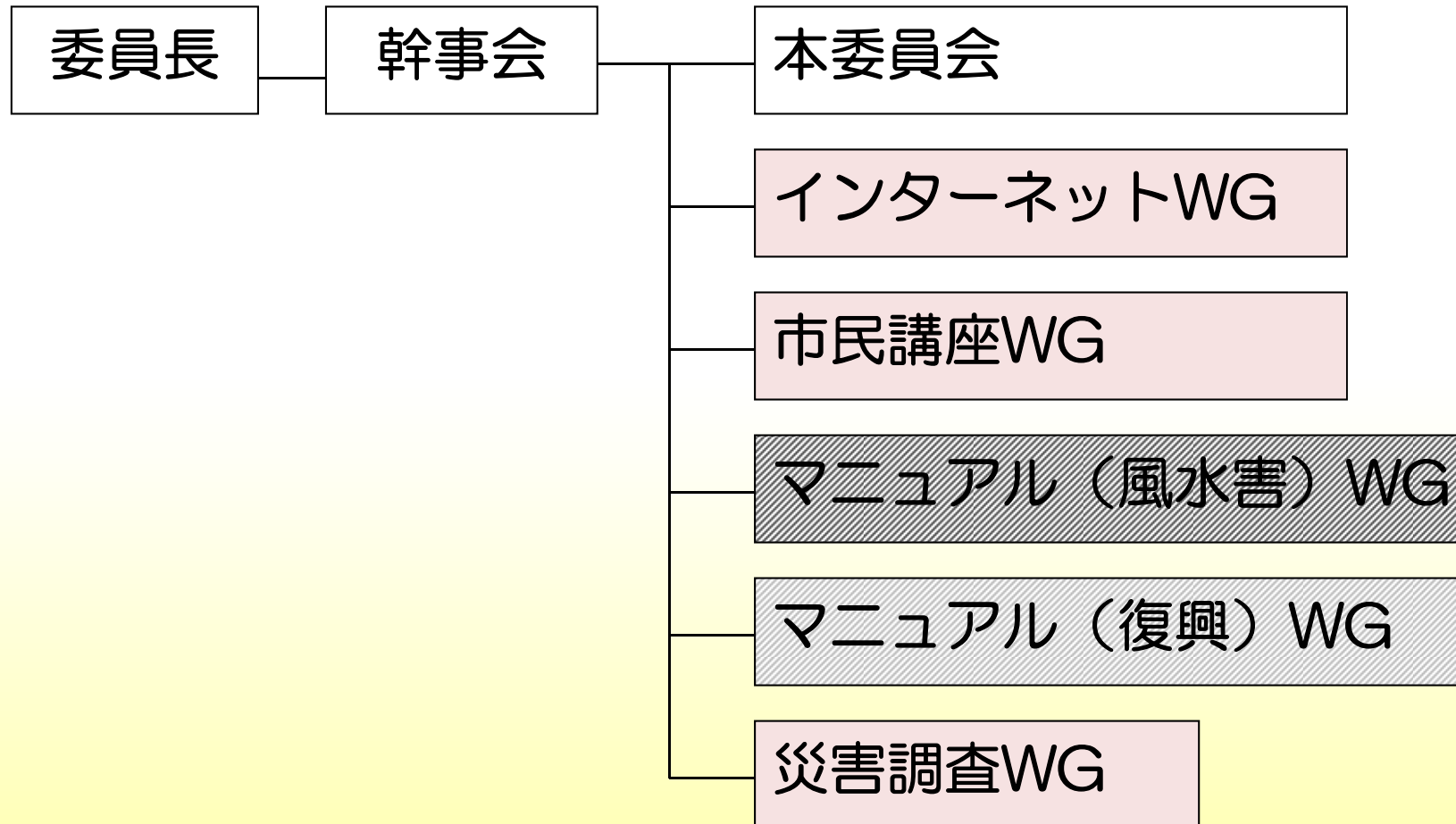
地震・風・水害などに関し、
調査、研究、発表及び建議などを行い、
建築に関する学術・技術・芸術の
進歩発達に寄与する

災害委員会の事業

(運営規程 第3条)

1. 災害及び抑制に関する調査，研究
2. 国内外の災害時における調査団の派遣情報収集などの推進と調整
3. 災害に関する報告書の編集
4. 前項1～3に関する成果の普及
5. 委託研究
6. 内外の関連委員会，学協会，官公庁など関連機関との連絡調整
7. 理事会からの付託事項
8. その他目的達成に必要なこと

災害委員会の組織構成



災害発生ごとに随時

災害委員会の委員構成

委員長，幹事（4名），WG主査（2名）
支部選出委員

北海道，東北，関東，東海，北陸，近畿，中国，四国，九州

構造委員会選出委員

応用力学，荷重，基礎構造，木質構造，鋼構造，壁構造，RC構造，PC構造，シェル・空間構造，仮設構造，振動，鋼コンクリート合成構造

学術推進委員会選出委員

材料施工，建築歴史・意匠，防火，建築社会システム，環境工学，建築法制，建築教育，都市計画，建築計画，農村計画，海洋建築，地球環境，文教施設，情報システム技術

災害委員会の予算

定常予算

年間予算： 552,000円(2014)

→本委員会・各WG開催（ほぼすべて旅費）

市民向け地震防災対策に関する支部企画予算

年間予算： 500,000円

報告書作成費

災害調査報告書作成（刊行物作成費より）

2013年度-2014年度活動

- 2013年度は災害委員会の出番はほとんどなかったが、それでも日本では竜巻や大雪の気象被害、フィリピンでは大規模な台風と地震被害があったことから、これらの被害調査結果については2014年の学会大会で緊急報告会が企画された。委員会活動はアンケート調査のみで、個別に被害調査に出かけられた先生方に後日ご報告をお願いした。
- 2014年：御嶽山噴火，長野県北部地震（→15.年度）
- 災害委員会運営規程、日本建築学会の地震災害調査活動指針の2015改定に向けて議論中。

市民講座WGによる企画

「震災対策技術展」関連講演会
場所:横浜パシフィコ 時期2月上旬
齋藤大樹WG主査(豊橋技術科学大学)

2013年

「未来に残る建築－災害を乗り越えて－」

2014年

東日本大震災のあの被害はどう解決されたのか
－液状化・高層ビル・天井落下・帰宅困難者－

東日本大震災合同調査報告編集委員会

- 委員長 和田 章 (東京工業大学名誉教授、日本建築学会)
副委員長 川島一彦 (東京工業大学名誉教授、日本地震工学会)
委員 日下部治 (茨城工業高等専門学校校長、地盤工学会)
委員 末岡 徹 (大成建設(株)技術センター技師長、地盤工学会)
委員 岸田隆夫 (地盤工学会専務理事、地盤工学会、2013年1月10日～)
委員 阪田憲次 (岡山大学名誉教授、土木学会)
委員 佐藤慎司 (東京大学教授、土木学会)
委員 白鳥正樹 (横浜国立大学名誉教授、日本機械学会)
委員 中井検裕 (東京工業大学教授、日本都市計画学会、2014年10月9日～)
委員 中村いずみ (防災科学技術研究所主任研究員、日本機械学会)
委員 長谷見雄二 (早稲田大学教授、日本建築学会)
委員 壁谷澤寿海 (東京大学地震研究所教授、日本建築学会、2013年4月1日～)
委員 平石久廣 (明治大学教授、日本建築学会、～2013年3月31日)
委員 平野光将 (元東京都市大学特認教授、日本原子力学会)
委員 田所敬一 (名古屋大学准教授、日本地震学会)
委員 岩田知孝 (京都大学防災研究所教授、日本地震学会)
委員 若松加寿江 (関東学院大学教授、日本地震工学会)
委員 本田利器 (東京大学教授、日本地震工学会)
委員 高田毅士 (東京大学教授、日本地震工学会)
委員 後藤春彦 (早稲田大学教授、日本都市計画学会、～2014年10月9日)
委員 竹内直文 ((株)日建設計顧問、日本都市計画学会)

(学会名アイウエオ順)

東日本大震災合同調査報告書（建築）編集委員会

委員 長	長谷見雄二	都市計画	加藤 孝明
副委員長	壁谷澤寿海		(村尾 修)
幹 事	加藤 孝明	建築計画	森 傑
	腰原 幹雄	農村計画	後藤隆太郎
	前田 匡樹	建築歴史・意匠	大橋 竜太
	(村尾 修)	環境工学	村上 公哉
調査研究委員会		建築社会システム	堤 洋樹
材料施工	(清家 剛)	建築法制	米野 史健
構 造	前田 匡樹	建築教育	(石川 孝重)
	(緑川 光正)	情報システム技術	瀧澤 重志
各編担当幹事	北山 和宏 【RC】	海洋建築	中西 三和
	大迫 一徳 【PC】	防 火	北後 明彦
	田中 照久 【SCCS】	災 害	壁谷澤寿海
	時田 伸二 【壁式】		腰原 幹雄
	寺田 岳彦 【S】	地球環境	(三浦 秀一)
	竹内 徹 【シエル】	共通編1	川瀬 博
	槌本 敬大 【木造】	共通編2	久田 嘉章
	金子 治 【基礎】	共通編3	増田 光一
		原子力編	中井 正一
			瀧口 克己

東日本大震災合同調査報告 (建築編)

- 建築編1 鉄筋コンクリート造建築物(15.4)
- 建築編2 プレストレストコンクリート造建築物
／鉄骨鉄筋コンクリート造建築物
／壁式構造・組積造(15.1)
- 建築編3 鉄骨造建築物／シェル・空間構造(14.9)
- 建築編4 木造建築物／歴史的建造物の被害(15.4)
- 建築編5 建築基礎構造／津波の特性と被害(15.2)
- 建築編6 非構造部材／建築施工(15-)
- 建築編7 火災／情報システム技術(15-)
- 建築編8 建築設備・建築環境(15-)
- 建築編9 社会システム／集落計画(15-)
- 建築編10 建築計画(16-)
- 建築編11 建築法制／都市計画(16-)

総集編 資料編(共通)

